

特集 青汁

は、食物繊維を始めとする各種栄養素を豊富に含む点に加え、アミノ酸バランスが人体の必須アミノ酸に近く、ローカロリーでの栄養充足を実現できる点が特長。

同社では現在、便通改善機能を想定した機能性表示食品の開発に向けて、関与成分の同定、作用機序の解明など、多角度からの研究データ蓄積を進めている。年内をメドに、クマ笹を配合した機能性表示食品の開発を目指すユーザーへのサポート体制を整備、来年以降には臨床試験に着手する計画だ。

同社では、国産に特化した原料のラインアップを拡充しており、『クマイザサ粉末』『クマイザサ濃縮エキス末』を軸とした「国産青汁」のOEM供給に注力している。「植物由来乳酸菌NB17(北海道産)」との組み合わせによる「北海道青汁」の提案。また、「わさび葉粉末(島根県産)」「桑の葉粉末(群馬産)」をブレンドした「生活習慣病対策青汁」などの提案力を強化するなど、多様化する青汁市場に向けて、より訴求力を高めた製品OEMの提案を加速させている。

「鹿児島県産明日葉」を提案強化

タカラバイオ

タカラバイオ(滋賀県草津市)は、鹿児島県産明日葉の粉末品から青汁ストレートパウチ(搾汁液・冷凍)までを提案する。「国産」「独自エビデンス」が評価され、「青汁用途を中心に需要が急増、供給タイトな状態が続いていたが、安定供給体制を構築しつつあることから、原料・OEM供給を再スタートする」としている。同社では、特有の2種のカルコン類

ケール)と比べて高い抗酸化能(ORAC値)を持つことも確認済みだ。加えて、ヒト試験および動物試験で、明日葉カルコンのアディポネクチン産生誘導による抗メタボ作用も明らかにしている。

同社の強みは、「徹底した品質管理を実施」「独自の研究データを蓄積」している点。品質管理については、栽培(土作り)から製品化までを一括管理、トレーサビリティ(生産履歴)管理をはじめ、残留農薬検査を定期的に実施している。なお、明日葉の原料販売は、宝ヘルスケア(京都市中央区)を通じて展開する。

大麦若葉、すいおうなど青汁事業で実績 東洋新薬

(株)東洋新薬(本社:福岡県博多区/広報部:東京都千代田区)は、大麦若葉、すいおう(甘藷若葉末)、ケール、長命草(ボタンボウフウ)、桑若葉など顧客ニーズに応じたODM事業を展開する。2015年上半期の青汁事業の売り上げは、「品質保証」「機能データの充実」が評価され、前年比をクリア。スムージー人気による需要増やインバウンド需要に加え、「毎日飲むことで健康のベースを作る商品」という認識が強いため、既存ユーザーに加え、成分追加によりトライアルユーザーの需要が増えるなど、さらに市場拡大が進む可能性が高い」とみる。素材別では、大麦若葉の自社直営工場は有機JASのほか、国際的適正農業規範「GLOBALG.A.P.」認証を取得する。工場はNSFGMPや健食GMP認証を取得するなど厳格な品質管理体制を敷く。大麦若葉は、国産青汁素材として日本で初めてのトクホの関与成分

の美肌作用(大麦若葉末・臨床)、「食後血糖値上昇抑制作用」(大麦若葉末)、「小腸下部からのカルシウム吸収促進」(大麦若葉末)などについて、学会等で研究成果を発表済み。トクホの実績と豊富なデータをもとに、「新制度の要望にも柔軟に対応していく」としている。

「胡麻若葉末」を原料・OEM供給

わたまんサイエンス

創業明治16年の胡麻司・和田萬商店のグループ企業である、(株)わたまんサイエンス(京都市中京区)は、国産青汁素材「胡麻若葉末」の原料・OEM供給を推進する。胡麻若葉の原料アイテムは、①無農薬・無化学肥料栽培の鹿児島産、②有機JAS認定の島根県産の2種。リグナンを高含有(通常の3倍)するミャンマー産「リグナンリッチ黒ごま種子」で栽培した点が最大の特長。

供給状況としては、大麦若葉・ケール・明日葉・桑葉・ボタンボウフウ(長命草)等の他の青汁素材とのブレンドで商品化が進むほか、食物繊維(含有量50%以上)に着目した商品も上市されるなど、「青汁製品への採用は、年々着実に増加している」という。「希少性の高いポリフェノール(アクトオシド)を含有」「抗糖化性・抗酸化性(ORAC値47,000μmolTE/100g)などのエビデンス」「新規性」「国産」「胡麻の健康イメージ」などの点がアドバンテージとなっているようだ。

ポリフェノールに関しては、日本大学生物資源科学部との共同研究で、通常の胡麻種子で栽培した若葉と比較して、アクトオシドを高含有することを見出し、昨年1月には特許査定(発明名称:アクトオシド含量の高い胡麻若葉乾燥末およびそれより得られるエキス粉末)を受けている。また、新たな成分として、ポリフェノールと並ぶ植物栄養素・イリドイドを含有することを昨年の「国際ポリフェノール学会」でも発表している。

同社では今後も、「胡麻若葉末」の拡販に注力するとともに、「エビデンス蓄積による訴求力強化」「需要増を見据えたさらなる安定供給体制の構築」を進める。エビデンスに関しては、抗糖化作用について、大学と共同研究を実施中。安定供給に関しては、カンボジア他海外でのテスト栽培にも着手している。

「チシャトウ」を抗アレルギー・肝機能訴求で

大森ヘルスケア

大森ヘルスケア(株)(岡山市北区)は、抗アレルギー作用、肝機能改善作用、抗メタボ作用などの機能を持つ国産チシャトウを青汁用途で展開する。原料は200メッシュの微粉末100%品を取り扱い、原料・OEM供給を本格化させている。

チシャトウはキク科の野菜で別名「茎レタス」と呼ばれ、レタスの原種に近いとされる。同社では通年で安定供給できる栽培・加工体制を確立。青汁やサプリメントのほか、居酒屋チェーンなど外食向けの業務用食材としての提案も進めている。茎の部分はコリコリとした食感があり、中華料理にも広く利用される。カリウム、β-カロテン、ビタミンB₁、B₂、Cを豊富に含むほか、ヨウ素も少量含有する。茎部分を乾燥させたものは「山くらげ」と呼ばれ、『山くらげちゃん』で商標を取得。乾燥品と下処理済みの冷凍野菜で供給する。

同社は業務用食材の総合卸として全国に流通網を持つ大森食品(株)を親会社とし、「チシャトウ事業」の専門会社として設立された。岡山大学薬学部との5年にわたる共同研究で、肝機能改善効果、アレルギー性鼻炎、ヒスタミン誘発鼻症状、ヒスタミン誘発皮膚掻痒症状、ヒスタミン誘発血管透過性亢進反応など多数のエビデンスを蓄積。健康者40人を対象としたヒト試験も行い、現在、論文投稿に向けた準備を進めている。

自社商品では、顆粒タイプの『ちしゅ

リグナンリッチ 黒胡麻マイクロパウダー

(60メッシュ 90%パス セサミン0.8%)

「通常のすりごまより香りが広がる」セサミンリッチな黒胡麻です。 ~プロテイン飲料、菓子、スープ、トッピング等へ~

胡麻若葉末

- 有機認定(島根産)
- 九州産(鹿児島)

※特許査定を受けました

※急性毒性、変異原性試験、ORAC値測定

- リグナンリッチ黒胡麻ペースト (セサミン規格値0.8%)
- リグナンリッチ黒胡麻油 (セサミン規格値1.2%)
- 発酵胡麻(ほか)
- チアシード(パラグアイ産) ※2016年以降より

●胡麻若葉、リグナン胡麻等の情報はこちらをご覧ください。

<http://gomadensetsu.com>

胡麻の伝説



胡麻を通じて健康を科学する。 ~香と機能、個性ある胡麻をお届けします~

本社 〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上る二条御坊546
TEL 075-222-7318 / FAX 075-222-0318
<http://www.wadaman-s.com>

株式会社 わだまんサイエンス